

## 1 派遣団員となった思いや、広島を訪れることへの抱負など。

僕が今回、派遣団員となった理由は、「平和」についてもっとよく知りたいと思ったからです。僕は以前、知覧（※）の特攻隊の資料館に行った事があり、さまざまな遺品や写真を目にして、「戦争」ってどういうものなのかなあ？と思って参加させていただく事になりました。

今回の広島派遣は楽しみつつも、戦争、原爆の歴史にふれていきたいと思います。そして今回の広島派遣に行った事で、自分の考え方を深められたり、さらにその考えを広げられたらと思います。そしてその事をたくさんの人々に伝えていけたらと思います。

### 参 考

ちらん  
知覧とは… 鹿児島県南九州市知覧町のこと。太平洋戦争末期に特別攻撃隊の飛行場があった場所で、陸軍基地のうち最も多い 400 人を超える特別攻撃隊員が沖縄戦へと出撃していった。

## 2 広島平和記念資料館（平和記念公園）を見学して学んだことや考えたこと。

広島平和記念資料館は原爆の恐ろしさがよく分かりました。1つの原子爆弾でこんなに多くの人々が亡くなってしまったのだと原子爆弾の恐ろしさをとても感じました。そして原子爆弾はあってはならないと思いました。

それから、原爆でいろんな障害やけがや火傷をした人もいてその写真を見てとても怖くなりました。

そして被爆者はいろんな差別などをされていたので悲しくなりました。

実物などもありその実物を見ていたらボロボロになってしまったものがいっぱいあってとても怖かったです。

私は資料館で原子爆弾はあってはいけないもので戦争もしてはいけないと強く思いました。

## 3 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式に参加して学んだことや考えたこと。

私は、広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式に参加して、68 年前の戦争で被爆し今も苦しんでいる人々がたくさんいることが改めて分かりました。私はその場に居なかったため、本当の苦しみ・悲しみが分かりませんが、参加していた被爆した方々の表情を見ると、その苦しみが自分にも深く伝わってきました。こんなことは、絶対に繰り返してはいけない。一人一人の行動で平和を守ることが大切だと学びました。

私はこの体験で学んだ被爆の事実と被爆者の思いを無駄にしないようにし、将来に生かしていきたいと思います。

## 4 全校生徒で作成した千羽鶴を捧げてきて感じたことや考えたこと。

千羽鶴の奉納場所では、色とりどりの、たくさんの折鶴を見られました。これだけ

の数の人々が平和を祈り、心を込めて鶴を折ったのだと思うと感動しました。

千羽鶴を捧げると、自然と達成感が湧きました。学校みんなの思いを、代表としてしっかり捧げられて、とても嬉しかったです。平和への祈りを形として残せる折鶴は、本当に大切なものだと思いました。

奉納し終わった後には、全員で合掌しました。私達の思いが、少しでも平和へとつながるよう、心から願い、祈りました。きっといつか、戦争も核兵器もなくなって、世界は平和になる。なぜか、そう感じることができました。

千羽鶴奉納は、3日間の中で一番平和を祈ることができた時間だったと思います。この祈りを、これからも忘れずに生きていきたいです。

## 5 被爆体験講話を聞いて学んだことや考えたこと。

8月7日、僕達派遣団員は中国新聞ビルに行き、被爆体験講話を聞きました。お話をしてくださったのは、田川康介先生でした。

田川さんは、17歳の時に爆心地から2.5km離れた広島駅の広場で被爆されました。爆風で6m飛ばされましたが、軽いけがで済んだと言っていました。他の人は服がとけてひふはとけてただれていて、田川先生は「水」、「助けて」など何回も言われたそうです。川には水を求めて集まり窒息死してしまった人がたくさんいたと話してくれました。また、田川さんは今までにたくさんの病にかかったそうです。どの話も資料館にない話や資料館より詳しいお話ばかりで、なにより被爆された方にお話が聞けたという事が本当によかったです。この講話で田川先生から学んだ事をまだ知らない人達に伝えていきたいと思いました。

### 【それぞれの感想】

・今回広島を訪れてみて、体験したことのないことをたくさん体験することができてとても光栄でした。平和についてまだまだもっとよく知りたい！と今回の広島派遣で思うことができました。今回学んだ事をより多くの人に伝えていけたらと思います。そして、世界の平和の実現のためにたくさんこうけんしていきたいです。

・私が広島を訪れて戦争や平和について考えたことは戦争は絶対してはいけない、核はあってはいけないと思いました。

資料館などで核の恐ろしさが分かったので、核がなくなるといいなと思いました。

そしてまだ戦争をしている国があるので世界から戦争がなくなることを祈っています。そしてこれからの生活では平和なのがあたりまえだと思わず感謝したいです。

・私は、広島を訪れて、平和というものは本当に尊いものだと思いました。68年前に落とされた原子爆弾の姿・形が広島にまったく残っていなかったからです。こんな世の中を奪ってしまう戦争は、本当に悲しいものだと思います。平和を守り続けるためには、一人一人の行動が大切なのだと思いました。今、自分が生きていることを、

あたりまえと思わず、身近にいる人に感謝の気持ちを伝えて生活していきたいです。

・今回、広島を訪れたことで、原爆の悲惨さ、戦争の必要性の無さ、平和の尊さなど、たくさんのことを今までより感じることができました。「平和」をこんなに祈ったことも無かったし、広島に行かなければ、今問題になっている原発はだめだと胸を張って言えるようにならなかったと思います。これから私は、学んだことをたくさんの人に伝えていきたいです。

・初めて広島を訪れ、原爆ドームを見たり、資料館、被爆者講話などを聞いて、戦争はざんこくで、悲惨だということを改めて分かりました。また、自分が戦争に巻きこまれたと考えたら悲しくなりました。

毎日が健康で元気に暮らせているのはだれもがあたりまえだと思っている事があたりまえではないという事も分かりました。なので、これからも平和に暮らせているという事を忘れず生活していきたいです。

今回の3日間の体験は戦争の悲惨さや平和の尊さなどたくさんの事を学ぶ事ができたので本当によかったと思います。今回学んだ事を友達などに教えてたくさんの人に知ってもらいたいです。

以上